

Izumi Sakakibara
Marine Option Program
October 13, 2003

Translation for the Hawaiian Islands Humpback Whale
National Marine Sanctuary

I conducted a project for the Marine Option Program; it was a translation of flyers and brochures for the Hawaiian Islands Humpback Whale National Marine Sanctuary. When I wrote the project, my English was very bad so I couldn't understand the English meaning. Now, I can translate quite easily, so I tried to translate with Japanese words that are easy to understand for every Japanese person.

While I was translating, I learned a lot about the Sanctuary, humpback Whales, spinner dolphins, monk seals and sea turtles. It was very interesting, and I liked to learn more about sea animals. I hope I will work for an association like the Humpback Whale Sanctuary to save animals in the future.



ノース パシフィック ハンパック ホエール

頭数の傾向

ザトウクジラ（ハンパック ホエール）は、絶滅の危機のある生物です。科学者たちは、捕鯨のが行われる前は、約15,000頭のザトウクジラがいたと推測していますが、現在は、約3,700～5,000頭まで減少しました。そのうちの約3分の2（約2,500～3,000頭）が、ハワイに毎年やってくると思われます。

分布と行動パターン

ザトウクジラは、ハワイと西メキシコと南日本の島の3つの、経度の低い交配と出産するエリアで冬を越えます。春と夏には、カリフォルニアの海岸からベーリング海の大陸棚の餌場に移動します。ハワイのメインの島は、その時期、世界で一番たくさんのザトウクジラがいます。ハワイは、ザトウクジラが、つがいになり、子供を産んで育てる唯一のアメリカの州です。

食事のパターン

夏の間、ザトウクジラは北の海（緯度 約40～75度）で、ししゃもや、にしんなどの群れを作る小魚を食べます。冬の間は、ほとんど食事をしませんが、移住の旅の間、食事をするかは知られていません。

繁殖

ザトウクジラのメスは、通常2～3年おきに出産し、妊娠期間は10～12ヶ月です。赤ちゃんは、10～12ヶ月育てられ、一年後には、2倍の体重に成長します。ザトウクジラは、オス、メスともに、通常5～9年で、大人になります。寿命は、知られていませんが、40～60年とされています。

再生活動

ハワイアン ハンパックホエール ナショナル マリン サンクチュアリー（海洋自然保護区）は、ザトウクジラとハワイの海が、彼らにとって、どれだけ大切かを一般の人達に知ってもらえることを望んでいて、ハワイのザトウクジラの調査活動も支えています。

危険な物

音波妨害

船との衝突

海のゴミにからまる

環境悪化、公害

違法の捕鯨

調査について

最新の調査

ザトウクジラの数の確認

社交と繁殖の記録と分析

ザトウクジラの歴史の説明

調査方法

アンテナや船による観測

水中写真と音波の録音

尾ひれの証明写真と人工衛星の名札

ハワイアン モンク シール

頭数の傾向

ハワイのモンクアザラシは、1, 300頭しか残っていない、アメリカで、一番絶滅の危機にあるアザラシです。ハワイのモンクアザラシの最近の出生率は、年間約150～175頭です。事実、ハワイのモンクアザラシは、絶滅の危機にあり、3種のモンクアザラシのうち、ハワイのモンクアザラシと地中海のモンクアザラシの2種しか残っていません。カリブ海のモンクアザラシは、1952年に最後に観測され、絶滅したものであると考えられます。

分布と行動パターン

出産する母集団は、ほとんど、ハワイの北西の島にいて、オアフ島の水面上にも少し見られます。サンデービーチとレイバービーチは、モンクアザラシのビーチとして人気です。モンクアザラシは一般的に、自分の生まれた島に残ります。

食事のパターン

エサは、海底や、礁（リーフ）の魚、ウツボ、タコ、ロブスターなどです。食事は、水深75～90mより浅い所でします。（でも、モンクシールは、500mより深くダイブできます。）

繁殖

ハワイのモンクアザラシのほとんどは、完全に大人にはなりません。それは25～30年かかると考えられています。モンクアザラシのメスは5～9年で出産可能になり、通常、約65%のメスが、毎年、浅い海の近くのビーチで出産します。

子供は、5～6週間で乳離れして、母親は、授乳期間は食事をしません。子供は体長3フィート（90cm）、体重30ポンド（13kg）で、乳離れまでに150～200ポンド（67～90kg）に成長します。

交尾は水中で行われ、人に観測されることは、ほとんどありません。

危険な物

海のゴミにからまる

人による繁殖グループの侵害

繁殖エリアで、オスが大量にメスの数に勝る暴徒グループがメスを傷つけたり、殺したりすること

再生活動

ビーチや、リーフのゴミや、アザラシにからまったゴミを取り除く。

大人のオスとメスの比率をバランスよくするためと、大群を作らせないために、オスとメスを移動させた。

調査について

最新の調査

繁殖と生存について

頭数の調査

ケガと死亡の原因について

行動学

暴徒グループの減少の原因について

フレンチフリゲート島のアザラシの減少

襲撃の習性（捕食、潜る深さ、捕食の場所）

ハンパック ホエールについて

学名： メギャプテラ ノヴァエアングリアエ

グレート ウイングス オブ ニューイングランド

ハワイ名：コホラ

クジラのタイプ：バルーン ホエール

生まれた時の体重とサイズ：約 1.5 トン、10～16 フィート
(3～4.8m)

一年後の体重とサイズ：2倍

大人の体重とサイズ：メス45トン、45フィート(13m)

オス42トン、42フィート(12m)

大人になる年齢：5～9才

寿命：30～40年

妊娠期間：10～12ヶ月

子育ての間隔：1～3年

一生：夏に、ハワイで繁殖、出産、子育て(10～5月)をして、冬に、
アラスカに食料のために移住(5～10月)します。

食料：プランクトン、小さい魚

移住の距離：ハワイとアラスカの間の約3000マイル(4,800km)

移住のスピード：少しの休憩だけで、時速、約3～7マイル(5～11km)
で旅をします。

ハンパック ホエールは、世界で5番目に大きいクジラです！

ハワイアン スピンナー ドルフィン

分布と移動パターン

オセアニアのスピンナードルフィンと異なり、ハワイのスピンナードルフィンは、日中、海岸近くで観られます。このように海岸近くにいる事は、ハワイのスピンナードルフィンの休息と繁殖と生命力を維持するために大切な習性です。彼らの、正確な頭数は知られていません。

食事のパターン

ハワイのスピンナードルフィンは、夜、外洋で食事をします。たいてい、水深100～1,000フィート(0.3～3km)の海底崖の斜面に沿ったり、横切ったりしています。彼らは、夜中、水面に浮上してくる、小さいイカや、ハダカイワシや、小さいタラなどの生物を食べます。

繁殖

スピンナードルフィンのメスは、5～12年で大人になり、妊娠期間は、10～12ヶ月です。通常、大人のメスは2～3年ごとに、一頭の子供を産みます。子供は、7ヶ月以上で乳離れします。スピンナードルフィンの寿命は知られていませんが、20年以上だと言われています。

危険な物

音波妨害

船との衝突

海のゴミにからまる

環境悪化

人の侵害

調査について

最新の調査

ラナイ島の周りの調査記録

人の侵害によるスピンナードルフィンへの影響

ハワイのその他のドルフィン

バンドウイルカ、スポッテッドドルフィン

ハワイアン シータートル

ハワイの海カメ

グリーンタートル、ハークスビルタートル、レザーバックタートルの3種類が、ハワイ固有の亀と、考えられています。その他に、ロッガーヘッドと、オリーブリッドレイの2種類が、時々、ハワイの海で観測されています。ウミガメの寿命は、よく知られていません。彼らは、とてもゆつくりと、自然の中で成長し大人になるまで、約25年かかります。ウミガメは、岩石学や、ハワイの神話に家族の神や守護者として描かれ、ハワイの文化と環境にとって、とても重要です。

グリーン シータートル

グリーンシータートルは、ハワイで最も一般的なシータートルで、島のいたる所の浅い海岸で海草を、餌にします。グリーンシータートルは、草食で、浅瀬の珊瑚や石の上に生えた藻を食べます。彼らは、200ポンド(90kg)以上にまで成長し、2~5年に一度、ハワイの北西に孤立したフレンチフリゲート島までの100マイル(160km)を移住します。ハワイアングリーンシータートルの数は、ここ数年増えています。彼らの住む一定のエリアで、フィブロピロマと言う、目、首、ヒレ、口などに繊維状のものが出来る病気に侵されています。それは、ウイルスによるもので、カメにとって致命的と言われています。

ホークビル タートル

ホークビルタートルもハワイ固有のカメで、絶滅の危機にあり、ハワイの海には、ほんの少ししか残っていないと考えられています。ハワイ島、モロカイ島、オアフ島の小さな砂浜に巣をつくり、これらのエリアは、彼らにとって、とても重要な生息地です。大人のホークビルタートルは、体長約3フィート(90cm)、体重約200ポンド(90kg)で、長くて細い、くちばしを無脊椎動物、毒をもったスポンジなどの餌を探すのに使います。ホークビルの肉は、人に有害です。

レザーバック タートル

レザーバックタートルは、世界で一番大きなカメで体長8フィート(2.4m)、体重2000ポンド(900kg)まで成長し、ハワイの沖で定期的に観測されます。彼らは、クラゲや他の無脊椎動物を食べます。通常、ハワイのビーチには、巣を作りますが、1997年にラナイ島で、少しの巣が発見されました。(残念なことに、その卵は、かえりませんでした。) レザーバックタートルは、硬い甲羅のない唯一のカメです。

危険な物

偶然による捕獲。特に魚の網。

ボートとの衝突。

グリーンシータートルのフィブロパピロマ菌。

生息地の減少、人による侵害。

不法の捕獲と殺傷。

海のゴミ。

ハワイアン ハンパックホエール ナショナル マリン サンクチュアリー

ハワイのザトウクジラ サンクチュアリー（海洋自然保護区）の本部によろこそ。すばらしい自然や、ザトウクジラの歴史と生態の生き生きした、魅力的なレッスンを体験してください。近代科学とハワイの文化の両方の視点から、これらの、壮大な海の哺乳動物について学んでください。サンクチュアリーが、どのようにザトウクジラの安全と健康を、維持するか理解してください。

サンクチュアリー本部では、一年中ザトウクジラの観測が行われています。

キヘイの海岸線に広がる輝く海は、ザトウクジラの生態環境にとっても重要です。冬の間、1,000頭ものザトウクジラが、北太平洋から出産と子育てのために集まってきます。シーズンの真っ只中、サンクチュアリー本部は、海岸近くの彼らのアクロバットを近くで観察しています。ハワイの海の生態系を共有している他の生物の情報も提供されています。陸上を散歩するように、原産の海草畑を見つけてください。海側にリング状の溶岩の小石で出来た、複雑な作りの養魚地を見ることが出来ます。何世紀も前、ハワイの住民は、この養魚地を、地元の人々の食料源にしていました。彼らは、海産物だけに頼っていませんでしたが、海と人との精神的なつながりと海と陸のつながりを大事にしていました。サンクチュアリーは、これらの伝統的な海への責任によって奨励される遺産を誇りに思います。

教育センターを訪問して、カラフルな展示品から、クジラと他の海洋生物の科学的と文化的な重要性を理解してください。海に関する本やビデオ、無料の資料や子供たちのための物、貢献するボランティア団体、熟知されたクジラの実事と伝説もあります。無料の、いろいろな海に関する講義が特定の月に開催されます。

ザトウクジラは、哺乳類です。温血で呼吸もして、私たち人間と似ているにも関わらず、水中でずっと生活できる能力を持っています。彼らは、活発で大きなクジラに見せるため、ヒレや、シッポをたたきつける、他のクジラとの意思伝達するの動きをします。彼らは、食料地と飼育地の広大な距離を、水温、潮の流れ、光、地磁気に導かれて旅をしていると思われます。ザトウクジラの英名のハンパックホエールはハンチ（弓なりに背を曲げる）からきていて、彼らがジャンプする時にみられます。ザトウクジラは、歌をうたうことで有名で、研究者たちは、これらの長くて、複合的な歌を求愛行動の一つと考えています。これは、伝説の海の王、ザトウクジラを知るために研究者が調査している謎のひとつです。

ホエール サンクチュアリーについて

ザトウクジラ、ハワイ語でコホラは、聖歌や伝説の中で崇められています。19世紀にマウイに現れた捕鯨船は、ザトウクジラが目当てでは、ありませんでした。ザトウクジラの捕鯨が広がったのは、20世紀前半の緯度の高い夏の食料地でした。1960年代にザトウクジラが最初に国際的に保護された時、たったの1,000頭しか、残っていませんでした。現在は、約5,000～6,000頭に増えました。世界中で緯度がゆっくり移動している事がこの巨大な哺乳類に影響するのではないかと、心配されています。

ハワイアン ハンパックホエール ナショナル マリン サンクチュアリーは、ザトウクジラを復活させる新しいステップです。1997年に、このユニークなサンクチュアリーは、ハワイの海に囲まれた約1,400スクエアーマイルの出産と子育てのエリアに設立されました。サンクチュアリーは教育と研究を、ザトウクジラをより理解し、守るためと、ハワイの環境のために役立てています。ナショナルマリンサンクチュアリーシステムの一つとして、市民と政府が、文化と生物学上、大切な海の資源を、正しく扱うための機会を提供しています。

ハワイアン ハンパックホエール ナショナル マリン サンクチュアリー プログラムは、ザトウクジラとその環境を、教育をとうして守ることと、研究と、規則を守るための説明をすることです。

入場無料、駐車無料！！

教育センターは、平日10時～3時までオープンしてます。